

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公表番号】特表 2006-521133(P2006-521133A)
 【公表日】平成 18 年 9 月 21 日 (2006.9.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-037
 【出願番号】特願 2006-504863(P2006-504863)
 【国際特許分類】

A 6 1 C 13/38 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 13/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 16 日 (2007.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 つの補綴部と 1 つのコネクタ部とを有する歯科補綴の三次元形状に関するデータの処理方法であって、前記コネクタ部が前記 2 つの補綴部に接続されており、前記 2 つの補綴部より安定性が低く、前記方法が、

- 安定性パラメータおよび安定性基準が前記コネクタ部に対して決定されるステップと、
- 前記安定性パラメータのために、実効値が前記データから計算されるステップと、
- 前記コネクタ部について実効値が前記安定性基準を満たすかどうかチェックされ、満たさない場合には、警告信号が発生されるステップとを含んで成り、

ここで前記安定性基準の決定が、以下の補綴属性、

- 補綴の構造、および / または
- 口腔内部の補綴の位置、および / または
- 前記コネクタ部の材料および / または断面形状、および / または
- 前記コネクタ部に隣接する補綴部の種類

の少なくとも 1 つに依存している方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法を行うためのデータ処理装置であって、

- データのための入力装置と、
- プログラムが前記方法に従ってデータの処理のために実行される前記入力装置に接続された中央ユニットと、
- 前記中央ユニットに接続された前記警告信号のための出力装置と

を有するデータ処理装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法を実施させるためのコンピュータプログラム。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のコンピュータプログラムが保存されるデータキャリア。